



「町長室へおじゃまします」  
の最終回を収録中

町では、有線放送事業の廃止に伴い2月26日に役場で、岩手中央農業協同組合（久慈宗悦代表理事組合長）に、64年間町民の生活を支えるきめ細やかな情報発信に努めてきた功績をたたえる「有線放送64年間ありがとう！」を開催し、感謝状と花束を贈呈しました。

当日は、伊藤広子有線放送センター所長と初代アナウンサー担当の阿部榮子さん（下北行政区）が当時の思い出を話し、集まった方と歴史を振り返っていました。

翌日には「町長室へおじゃまします」の最後の収録が行われ、伊藤所長はいつも通り高橋町長に町政を伺いました。

## 64年間ありがとう！有線放送 きめ細やかな情報を発信

## まちの話題 あれこれ

身の回りに起きた出来事など、  
楽しい情報をお寄せください。  
役場企画財政課  
☎ 611-2724



当時の思い出を語る阿部榮子さん

## 大きな希望を胸に旅立ちの日 町内中学校で卒業式行われる



合唱を披露する卒業生、感極まって涙を流す

町内の中学校の卒業式が3月14日に矢巾中学校と矢巾北中学校で行われ、両校合わせて247人の生徒が思い出の詰まった学びやに最後の別れを告げました。

矢巾中学校の卒業式では、佐美庸校長が115人の生徒一人ひとりの名前を読み上げ、卒業証書を授与し「それぞれの道に進むことになるが、夢や目標に向かって挑戦する人になってほしい」とあいさつ。卒業生は答辞で「中学校生活のすべてが私たちの成長の糧だった」と振り返り「これからは自分の意思で学び、信念を持って、新たな一歩を踏み出します」と決意を表明しました。



佐美校長が一人ひとりに卒業証書を授与



### 防災ラジオ「やはラジオ」を配布

町では2月19日から、防災ラジオ「やはラジオ」の配布を開始しました。

行政番組「やはラヂ！」や緊急放送が割り込んで放送されるため、町民はラジオによる情報取得が可能になりました。



### 思い出を胸に未来へ旅立つ

3月2日、北日本高等専修学校（瀬川深志校長）の卒業式が矢次公民館で行われ、5人の卒業生が、勉学やスポーツ、地域でのボランティア活動など、たくさんの思い出を胸に、それぞれの道へ羽ばたきました。



### 未来への決意新たに 小学校卒業式

徳田小学校の卒業式が3月17日に行われ、卒業生30人が小笠原安和校長から卒業証書を手渡されました。先生や友人との別れを惜しみながら、中学校入学に向かって決意を新たに旅立ちました。



著作者の許可が必要かグループで話し合う児童たち

岩手県行政書士会（田村格会長）は2月27日、法教育授業「著作権の大切さ」を開催し、不動小学校の6年1組の児童27人が著作権を示すマークや著作物の保護期間などを学びました。

授業はクイズ形式で進み、絵や音楽などを学校の授業で使うときや、配布を目的とせず個人利用するときなどは、著作者の許可が必要か児童に問いかけてました。講師を務めた同会副会長細川榮子さんは「子どもたちが著作権のマークを知り、生活の中で著作権を意識してほしい」と話しました。

児童は著作権の大切さを学び、権利義務を守る行政書士という職業を知りました。

初めて聞いた「マルシーマーク」  
不動小で著作権の大切さを学ぶ



配布されたステッカーを張る藤澤社長

町では2月27日、電子マネーを使った特殊詐欺の被害に遭わないように、町内にあるコンビニエンスストア14店舗に防犯ステッカーを配布。県内でも電子マネーの被害が増加していて、購入分の電子マネーカードのID番号を教えないことを注意喚起しました。

ファミリーマート上矢次店を営むフジ・リテール株式会社社長の藤澤達彦社長は「ステッカーを店舗に張り、店員の防犯意識の向上につながってほしい」と話しました。

ステッカーは、町と紫波警察署が協力して製作をしました。

特殊詐欺に遭わないように  
コンビニ店舗にステッカー配布